

Katachi

7 市民のカタチ

キラリ輝く人と街へ!

「亀山市民大学・キラリ」の開校、 市民税の1%を市民活動の支援のために使います。

自治と絆づくりを重要視します。また、現在のかめやま環境市民大学を進化させ、市民の皆さんの生涯学習拠点として、環境・文化・健康に関する3学科をもつ「亀山市民大学・キラリ(仮称)」を開校します。一方、市民活動やボランティア活動などを後押しするために、個人市民税の1%を納税者が選択する市民団体などに助成できる、市民活動1%支援条例を制定します。

事業費:9000万円 | 期限:2年以内

- ◆市内25の地区コミュニティを単位に予算配分し、その地域の判断と責任で課題解決をはかる「地域予算制度」を創設します。 事業費:1億2000万円 | 期限:1年以内
- ◆市内11の小学区を単位に、民と民の協働事業を支援する「パートナーシップ制度」を創設します。 事業費:3300万円 | 期限:2年以内
- ◆「市民協働センター・みらい」へ専門コーディネーターを配置し、市民活動・ボランティア活動・NPO活動などの育成と支援機能を充実します。 事業費:2400万円 | 期限:2年以内
- ◆川崎・神辺・関南部地区に、新しいタイプのコミュニティセンターを整備します。また、モデル的に各種証明書の発行などのサービスが提供できる体制をつくります。 事業費:要検討 | 期限:4年以内
- ◆男女共同参画をかけ声だけに終わらせず、現在20数%である審議会等への女性登用率を40%まで高めます。 期限:4年以内
- ◆地域のタウン誌などの育成支援、地域FM局の設置可能性を検討します。 事業費:5000万円 | 期限:2年以内
- ◆公園・街路樹等の清掃や管理などに対する、地域の皆さんによる「里親制度の条例」を制定します。 期限:すぐに
- ◆スポーツ・レクリエーション指導者の育成、市内2ヶ所の総合型スポーツクラブの設置、関地区運動会の継続開催を支援します。 事業費:1000万円 | 期限:1年以内

行財政改革と財源

- 財政情報の共有を進め、病院事業や関ロッジ事業なども含む連結バランスシート、中長期財政計画を作成し公表するなど、「公会計改革」をはじめます。
- 単年度での予算の使いきりをなくし、次年度の予算編成へ反映させるしくみを導入する一方、既存の施設・財産の管理のあり方を見直し利活用します。
- 市民参加による「事業仕分け制度」をバージョンアップし、支出の無駄をなくすとともに、市の議決機関である市議会でのオープンな論議を重視します。
- 財源調達のリスク分散、市政参画意識の向上の観点から、「ミニ市場公募債」を発行します。
- これらにより、4年間で15億円以上の財源を新しく生み出し、『新生・亀山モデル』の新たな事業を推進してゆきます。

現在は、幸いにして優良な財政構造をもつ亀山市においても、5～10年スパンでの中長期的視野に立てば不透明感が残ります。先の米国発・金融危機による国・地方財政への影響が避けられない局面にある今、これら「7つのカタチ+3つの戦略プロジェクト」を実現するためには、将来を見通した徹底した行財政改革と創意工夫の財源確保など、確かな経営手法が不可欠です。



桜井よしゆき

プロフィール

1963年2月25日生まれ。神戸高校・関西大学社会学部卒業。民間コンサルティング会社での東京・広島勤務を経て帰郷。1991年、亀山市議会議員選挙に初当選、政治家としての第一歩を踏み出す。1995年、三重県議会議員選挙に初挑戦、以来4期連続当選。三重県議会第101代副議長・予算決算特別委員長・リニア建設促進議員連盟会長などを歴任する。2008年10月、新たな志により議員辞職。現在、三重県軟式野球連盟副会長・灯おどり保存会会長・亀山少年少女合唱団後援会会長など奮闘中。映画と温泉をこよなく愛する庶民派。座右の銘は、着眼大局着手小局。

※本マニフェストは、市政全般のすべての事業を記載している訳ではなく、新たな展開を始めようとするものを記した政策集です。当然、道路・下水道などの社会基盤整備、高齢者タクシーチケット助成などの福祉施策等は、着実に進めます。